

番号不明被災自動車の状況

東日本大震災の被災地早期復興を目的に、番号不明被災自動車の再資源化預託金等の預託を資金管理センターにて行う取組みを2011年5月に開始し、これまでに30の被災自治体から12,244台の申請があった。

今般、この取組みについて今後の方針を検討するにあたり、番号不明被災自動車の処理について、現時点で最終の完了確認がとれていない9被災自治体に対し、未申請の台数につき、確認調査を行った。

結果は以下の通りである。

【番号不明被災自動車の申請状況と今後の見込み】

自治体名称	申請実績	申請残数		回答
		現在把握分	次年度以降	
A町	177台	100台弱	?	近日中に約100台弱の番号不明被災自動車の申請を予定。町内及び瓦礫仮置場など、目に見える範囲での番号不明被災自動車の申請は今年度内に完了。ただし、今後、海底や津波の被害により進入できず、瓦礫の撤去作業等が実施されていない場所から発見された場合には、 <u>その都度の対応をお願いしたい</u> 。
B市	83台	5台	0台	申請及び車両のリサイクル処理ともに <u>年度内に完了する予定</u> 。
C市	103台	2台	0台	本年度内での申請を <u>完了する見込み</u> 。
D市	455台	0台	0台	本年11月13日をもって番号不明被災自動車の <u>申請完了</u> 。
E町	1,349台	100～200台	100～200台	これまでの申請分を処理した後、概算で100～200台程度残るとされる。現状、被災自動車の処理は平成26年4～5月までかかる見込みのため、来年度も本年同様の <u>取扱いを希望する</u> （山積みされた車両をある程度処理しないと、正確な残数をカウントできない）。
F町	2台	0台	0台	年度内 <u>完了の見込み</u> （現在、東日本大震災により発生した番号不明被災自動車は確認されていない）。
G町	201台	3台	0台	現在保管している番号不明被災自動車3台は、今後申請予定。今現在も農地復旧の作業が行われており、番号不明被災自動車が出てくるとも予想されるが、業務が今年度末までとなっているため、平成26年3月以降については <u>発生しない見込み</u> 。
H町	64台	0台	?	被災地の復旧復興に取組み、これまで利用されていなかった土地の利用が始まることにより、新たな被災車両が今年中も発見された。現在未処分の被災車両はないが、来年度も新たな被災車両の発見が見込まれるので、来年度1年間の事業の <u>継続を希望する</u> 。
I市	0台	250台	0台	本年度内に旧警戒区域外の被災自動車処理を完了するため、現在、処理業者と協議を重ねており、本年度内に申請を併せて <u>完了する予定</u> 。
その他自治体	9,810台	0台	0台	（既に <u>申請完了</u> との連絡を受けている）
被災自治体計	12,244台	460～560台	100～200+α台	

以上